

藻場の保全・回復に向けた取組の強化

○近年、急速に拡大している磯焼け(藻場の大規模な衰退・消失)対策として、藻場の保全・回復に向けた取組を強化する。

海域	現 状	令和4年度の取組(磯焼け緊急対策事業)
内房	<p>岩礁に対する藻場面積の割合 43.4%</p> <p>⇒アイゴ等の植食性魚類や、ガンガゼ等ウニ類による食害を受け、磯焼けの範囲が急速に拡大</p>	<p>○藻場消失対策事業 366千円</p> <p>県水産総合研究センターが海藻及び食害生物の分布状況と藻場衰退の原因を調べ、漁業者が実施する藻場回復の取組を指導・支援する。</p> <p>○藻場消失対策取組支援事業 1,050千円</p> <p>漁業者が実施する藻場回復の取組に必要な資材の購入費や食害生物の処分費について支援する。</p>
外房	<p>岩礁に対する藻場面積の割合 87.0%</p> <p>⇒一部地区で植食性魚類による食害が見られるなど、磯焼けの兆候を確認</p>	<p>○藻場保全対策事業 725千円</p> <p>県水産総合研究センターが水中カメラやドローンにより藻場の変化を早期に把握し、藻場消失の兆候があった場合には、確認調査を実施し、早期に対応する体制を整える。</p> <p>○藻場消失防止対策緊急調査事業【新規】 1,460千円</p> <p>藻場消失の未然防止の観点から、県が漁業者とともに植食性魚類の駆除等の藻場食害対策及びモニタリングを開始し、藻場保全に係る取組の効果を実証することで、漁業者による藻場消失防止対策の実施体制を構築する。</p>
共通		<p>○磯焼け回復実証事業【新規】 5,548千円</p> <p>既に磯焼けがみられる海域で食害生物の駆除や岩盤清掃を集中的に実施し、海域の特性に合わせた藻場回復手法の実証を行う。</p>

《取組の概要図》

内房海域

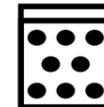
藻場消失対策取組支援事業

- 対象地区
・鋸南町～館山市内の漁業協同組合(予定)

■取組内容



植食性魚類
駆除



スポア
バック

磯焼け回復実証事業【新規】

- 対象地区
・外房海域、内房海域のうちから2か所



ガンガゼ駆除



岩盤清掃(有節石灰藻除去)



外房海域

藻場消失防止対策 緊急調査事業【新規】

- 対象地区
・南房総市～いすみ市の漁業協同組合(予定)

■取組内容



モニタリング



植食性魚類
駆除

館山市伊戸地先で確認された藻場消失

令和3年4月



令和3年10月

